

コオニユリ  
「小鬼百合」(ユリ科)  
北海道～九州の山地の  
草原に生える多年草。  
地下の球根は食べるこ  
とができる。



# 箱根湿生花園の 花だより

2018年8月1日 発行

夏休みに入りました。各地で猛暑日が続いており、外出するのも億劫ですが、標高約650mの仙石原では吹き抜ける風に爽やかさを感じることができます。箱根湿生花園では、カワラナデシコやコオニユリなど美しい夏の花々が見頃です。「世界の食虫植物展」も開催中！詳細は右上をご確認ください。



「世界の食虫植物展」開催中です。ハエトリグサやウツボカズラなど食虫植物、約100種700点を展示しています。開催期間は9月9日まで期間中には食虫植物ミニ教室・展示即売イベントを開催します。

食虫植物ミニ教室 日時：8/18(土)～8/24(金)

13:30～約30分間

展示即売イベント 日時：8/25(土)、8/26(日)



## Pick Up カワラナデシコ 「河原撫子」ナデシコ科

カワラナデシコは、本州～九州の日当たりの良い草原、河原などに生える多年草です。7月～8月頃、淡紅色の美しい花を咲かせます。花弁が細かく糸状に裂けているのが特徴です。別名「ナデシコ」とも呼ばれており、名は万葉集にも出てきています。可憐な花を子を撫でるようにかわいがりたいということからこの名がつけられたといわれています。

箱根湿生花園では、園内各所で見るすることができます。特にススキ草原区や道端などでは、背丈の低い草原で他の植物に寄りかかるように咲いています。古来から日本人に親しまれてきた美しい花をぜひお楽しみください。



## サワギキョウ 「沢桔梗」(キキョウ科)

北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。箱根湿生花園に隣接している仙石原湿原にも自生している。

## File 8 オオルリハムシ 甲虫目 ハムシ科

今回は「湿原の宝石」と呼ばれるオオルリハムシのご紹介です。オオルリハムシは赤や青などキラキラと輝く体色を持つ、ハムシの仲間です。体長は11～15mmで、ハムシの仲間の中では大型です。食草はシロネやヒメシロネなどのシソ科の湿生植物です。そのため、神奈川県内では湿原のある箱根仙石原が唯一の生息地となっています。箱根湿生花園では仙石原湿原区などで観察することができます。自然度の高い湿原環境の指標種にもなっているオオルリハムシ。ぜひ観察してみてください！



## Botanical Gallery



**キレンゲショウマ**  
本州(紀伊半島)～九州の深山の林内にまれに生える多年草。絶滅危惧種に指定されている。



**ハコネギク**  
本州(関東・中部地方)の風当たりの強い草原や岩場に生える多年草。総苞は触ると粘るのが特徴。



**シラヒゲソウ**  
本州～九州の山地の谷沿いの湿地に生える多年草。名前の由来は、細く切れ込んだ花弁を白いひげにたとえたことから。



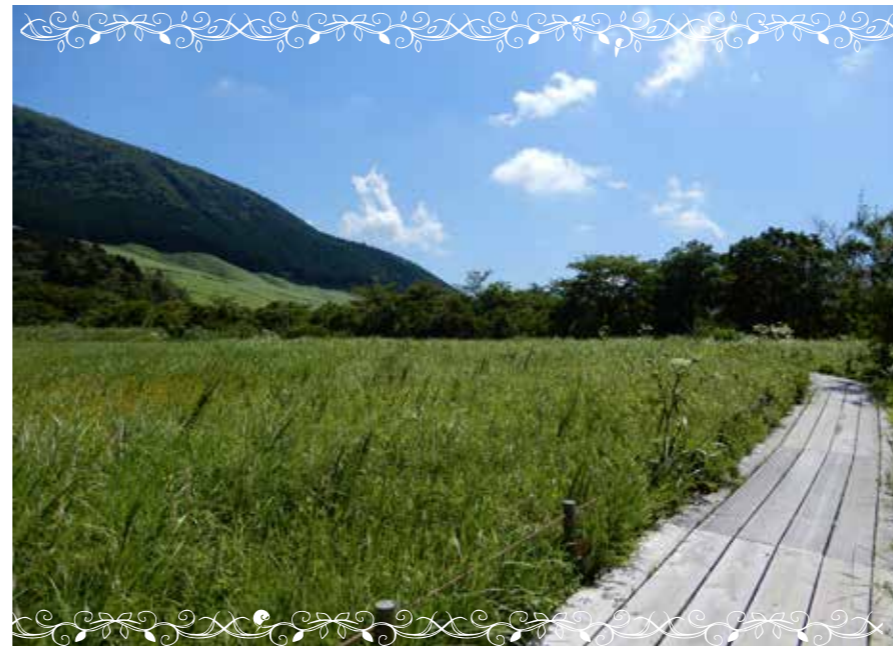
**ミソハギ**  
北海道～九州の山野の湿地に生える多年草。エゾミソハギと似ているが、葉の基部は茎を抱かないのが特徴。



**フシグロセンノウ**  
本州～九州の山地に生える多年草。センノウの仲間によく似たものが多いが、朱赤色の花弁に切れ込みがないのが本種の特徴。



**ヤマハハコ**  
北海道～本州(長野県・石川県以北)の日当たりの良い山地の草地に生える多年草。白い花びらのように見えるものは総苞片。



涼しい風を全身で感じる事ができる仙石原湿原植生復元区。天気がいいと、台ヶ岳やそのふもとにある仙石原すすき草原を眺めることができます。

### ご利用案内

通常営業 9:00～17:00(最終入園16:30)  
大人(中学生以上)700円 小人(小学生)400円

### アクセス

小田原駅または、箱根湯本駅より箱根登山バス(湖尻・桃源台行)“仙石案内所前”下車、徒歩8分。強羅駅より箱根登山バス(湿生花園行)終点下車。東名高速道路・御殿場ICより、車で20分。

Hakone Botanical Garden of Wetlands

**はこね湿生花園**

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原 817

<http://hakonekanko.com/>